

第4節

区民参加による環境づくり

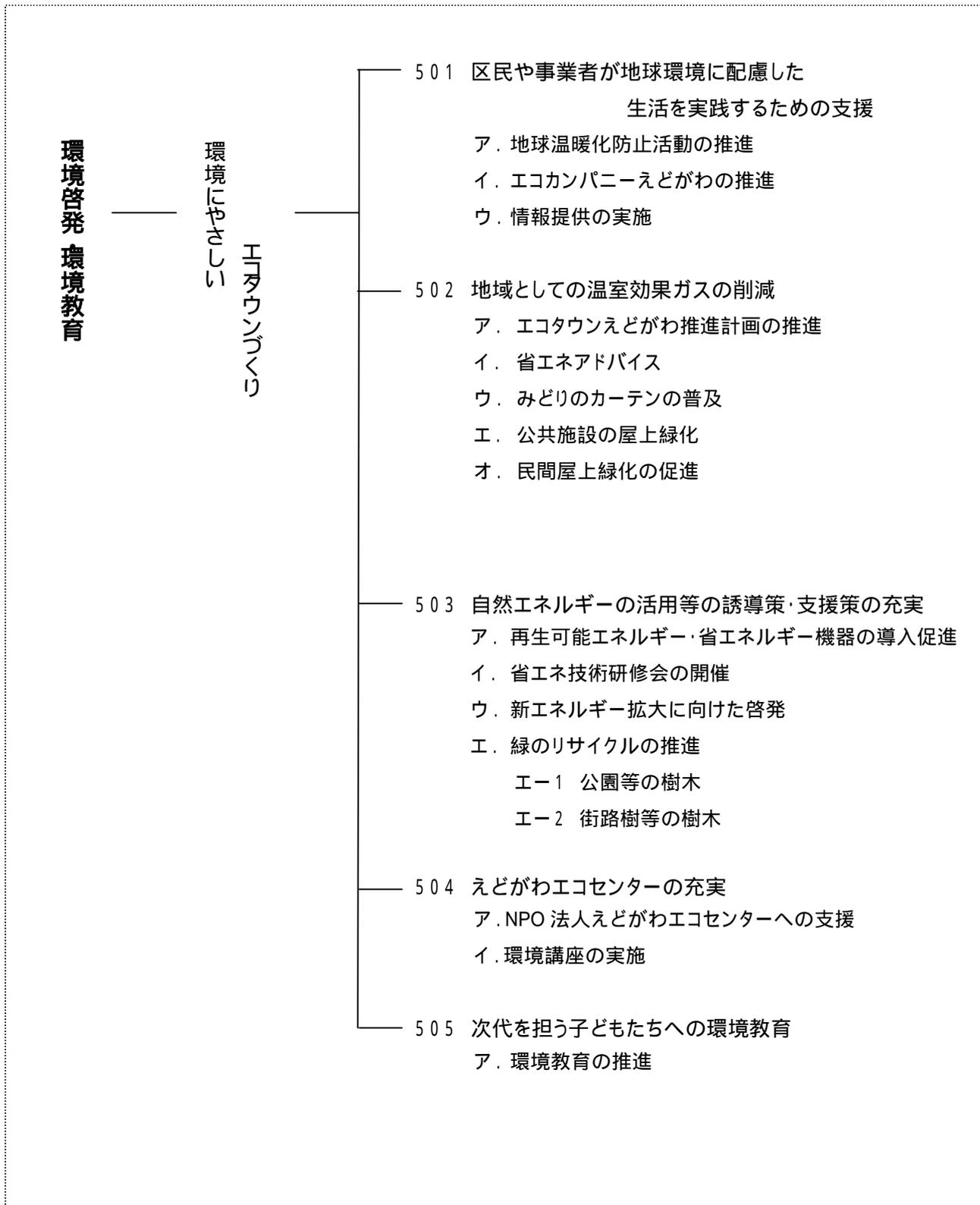
- 1 環境啓発・環境教育
 - (1) 環境にやさしいエコタウンづくり
- 2 資源循環（ごみの減量と資源リサイクル）
 - (1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化
 - (2) 資源リサイクルの拡充
- 3 自然との共生・ふれあい
 - (1) 水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり
 - (2) 自然とのふれあいの拡大
- 4 都市環境問題・有害化学物質への対応
 - (1) 生活環境の改善・保全と新たな環境汚染問題への対応

1 環境啓発・環境教育

【施策の考え方】

一人ひとりが環境に対する高い意識を持てるように、幅広い年齢層が参加できる多様な学習の機会を整えます。特に「暮らしと環境」との関係をわかりやすく体系的に学べるようにするとともに、学校等において、次代を担う子どもたちに環境教育を積極的に行います。また、えどがわエコセンターと連携し、環境啓発、環境教育等を進め、資源循環、自然とのふれあい等の取組みにつなげます。

【施策体系図】



(1)環境にやさしいエコタウンづくり

501 区民や事業者が地球環境に配慮した生活を実践するための支援

地球温暖化防止を図るため、えどがわエコセンター と連携し、省エネ・省資源・ごみ減量等にみんなが取り組む「もったいない運動えどがわ」を拡大します。併せて、区独自の環境取組制度「エコカンパニーえどがわ」事業の普及促進を図り、事業者の地球温暖化防止等の環境に配慮した自主的な取組みを支援します。

えどがわエコセンター：江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働し、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため設立した特定非営利活動法人。

「エコカンパニーえどがわ」事業：環境活動の取組みに対する宣言をした事業所を、「環境取組事業所」として登録し、年一回、その活動を報告する制度。

施策コード	501	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
地球温暖化防止活動の推進		もったいない運動えどがわの拡大	同左	同左
事業費		1,227千円	1,227千円	1,227千円
エコカンパニーえどがわの推進		登録事業所の拡大	同左	同左
		事業者の取組支援	同左	同左
事業費		244千円	244千円	244千円
情報提供の実施		情報紙発行支援及びホームページの充実	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」：事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)の中で計上しています。

502 地域としての温室効果ガスの削減

地域をあげて地球温暖化防止を図るため、エコタウンえどがわ推進計画 の推進に努めます。また、省エネアドバイス 等により活動を拡大します。

公共施設の屋上緑化を推進するとともに、住宅等整備事業における基準等に関する条例 に基づいた民間敷地内の緑化、屋上緑化、駐車場設置部分等に透水性舗装、保水性舗装 を誘導するとともに省エネルギー機器設置住宅に対する容積率の緩和をすることにより省エネ住宅の建設を促進し、ヒートアイランド現象 の抑制を図ります。

エコタウンえどがわ推進計画：地球温暖化防止を図るため、温室効果ガス削減の数値目標等を定めた計画。

省エネアドバイス：中小事業者を対象に節電アドバイザーを派遣し、それぞれの事業所にあった対策を提案する事業。

住宅等整備事業における基準等に関する条例：中高層共同住宅、一定規模以上の土地利用の基準等を定めたもの。

透水性舗装：雨水の地中への浸透により、雨水流出抑制、雨天時の歩行性の向上等に効果がある舗装。

保水性舗装：道路の舗装断面に保水機能をもたせた舗装。雨天時に吸収した水分を晴天時に蒸発させ、気化熱を奪うことにより路面の温度が下がる効果が期待できる。

ヒートアイランド現象：都市中心部の都市活動の結果として生じる気温上昇現象。

施策コード	502	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
エコタウンえどがわ推進計画の推進		推進本部の運営	同左	同左
		計画の推進	同左	同左
事業費		74千円	74千円	74千円
省エネアドバイス		都や国の省エネ診断事業の紹介	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

みどりのカーテンの普及	モニター事業	同左	同左
	区民への周知	同左	同左
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
公共施設の屋上緑化	2 施設	3 施設	1 施設
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円
民間屋上緑化の促進	促進件数100件	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円

「-」:事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)、小中学校の改築(施策コード129)の中で計上しています。

503 自然エネルギーの活用等の誘導策・支援策の充実

住宅や事業所への再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入を促進するため、えどがわエコセンターで実施する太陽エネルギー利用講習会への支援や、機器の導入に対する補助・支援制度の周知を行います。

省エネ技術研修会を開催し、環境に配慮した事業所の運営を支援するとともに、省エネルギー機器の効果等の紹介を行うことにより導入を促進します。

水素・燃料電池をテーマとした講演会の開催等をとおして、新エネルギー拡大について区民の意識向上を図ります。

剪定枝、枯損木、倒木等の発生材を、緑のボランティア団体や保育園・小中学校などでの樹名板や各種工作用の材料として有効活用を図ります。

施策コード	503	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
再生可能エネルギー・省エネルギー機器の導入促進	区民への情報提供	同左	同左	
事業費	－ 千円	－ 千円	－ 千円	
省エネ技術研修会の開催	省エネ技術研修会の開催	同左	同左	
事業費	74千円	74千円	74千円	
新エネルギー拡大に向けた啓発	水素・燃料電池について講演会等を開催	同左	同左	
事業費	200千円	200千円	200千円	
緑のリサイクルの推進	公園等の樹木 リサイクル率 100% 剪定枝のチップ化 1,000 m ³ 落ち葉の腐葉土化 300 m ³	同左	同左	
	事業費	16,240千円	16,240千円	
	街路樹等の樹木 樹名板 500枚 工作教材等10 m ³	同左	同左	
	事業費	1,000千円	1,000千円	

「-」:事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)の中で計上しています。

504 えどがわエコセンターの充実

区民、事業者及び区が連携・協働した環境活動の輪をさらに広げるため、その中心となるえどがわエコセンターの活動を支援します。また、えどがわエコセンターで実施する学習会等の環境講座を支援するとともに、地域の環境学習リーダーを育成するための「おきがる環境講座」等の実施を委託します。

施策コード	504	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
NPO法人えどがわエコセンターへの支援		活動支援	同左	同左
事業費		43,672千円	43,672千円	43,672千円
環境講座の実施		各種環境講座	同左	同左
		人材育成事業	同左	同左
事業費		1,043千円	1,043千円	1,043千円

505 次代を担う子どもたちへの環境教育

えどがわエコセンターで実施するグリーンプラン推進校 事業や、小・中学校の環境学習事業等を支援します。また、「学校版もったいない運動」と連携し、環境教育のさらなる拡大を図ります。

さらに、諸団体等が地域で行っている環境に関する活動に対して支援を行います。

グリーンプラン推進校：えどがわエコセンターと協働し、学校における環境学習を推進するモデル校。

施策コード	505	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
環境教育の推進		グリーンプラン推進校の拡大及び小中学校の環境学習支援	同左	同左
		学校版もったいない運動との連携	同左	同左
		地域の実情に合わせた活動の支援	同左	同左
事業費		— 千円	— 千円	— 千円

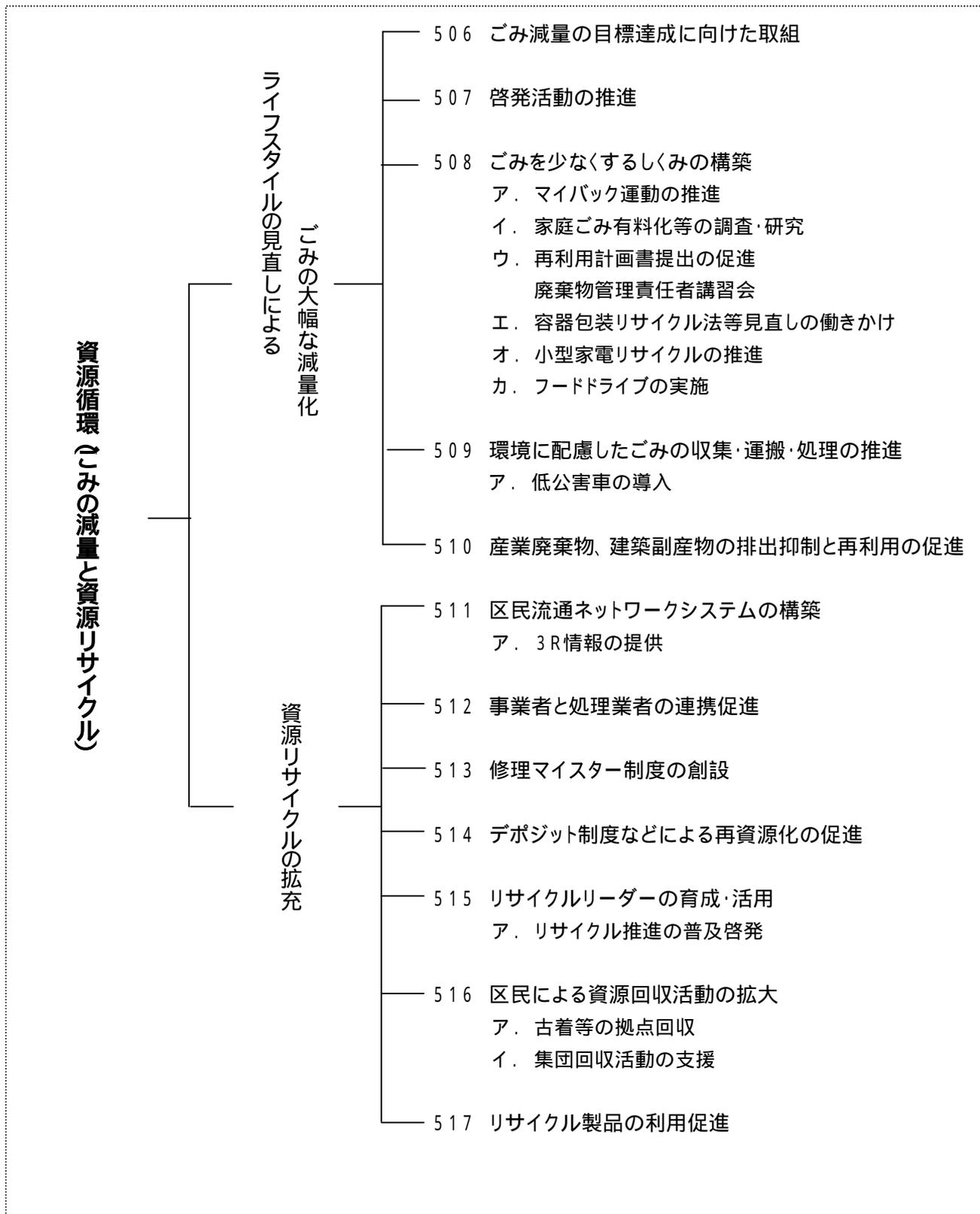
「-」：事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)の中で計上しています。

2 資源循環(ごみの減量と資源リサイクル)

【施策の考え方】

ごみの量は、平成11年10月から実施した資源回収事業の全区展開により減少傾向にあります。ごみの減量をより一層推進することが必要です。限りある資源を大切にするために、区民と事業者が協力するとともに、効率的に3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再使用)・リサイクル(再資源化))を推進し、清掃事業と一体となった循環型社会形成に向けたしくみづくりが求められています。

【施策体系図】



(1) ライフスタイルの見直しによるごみの大幅な減量化

506 ごみ減量の目標達成に向けた取組

「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、平成33年度までに平成12年度に比べて20%のごみ減量を図るため、資源化可能物である容器包装プラスチックのリサイクルを推進し、集積所回収の実施に努めます。

507 啓発活動の推進

ごみ減量・リサイクルに関する取組みを拡大するため、学校、町会・自治会等を単位として出前講座等の啓発活動を推進します。

また、ごみ減量の方法及びリサイクルの効果について、清掃・リサイクルニュースを発行し、3R(発生抑制、再使用、再資源化)の啓発等に努めます。併せて、区立小学校4年生全員に環境教育冊子「えどがわくのごみダイエットにチャレンジ」を配付し、環境学習の促進を図ります。

508 ごみを少なくするしくみの構築

えどがわエコセンターと連携を図りつつ、スーパー、コンビニ等の事業者、区民、区が一体となり、マイバッグの利用を促進し、ごみの減量を推進します。また、効果的なごみ減量施策のあり方について、学識経験者・区民・事業者の代表による廃棄物減量等推進審議会等で調査・研究します。

さらに、事業用面積が1,000㎡を超える大規模事業所を対象に、再利用計画書の作成・提出を促すとともに、廃棄物管理責任者講習会を実施し、事業者におけるごみの発生抑制、事業者処理責任の徹底を促進するとともに、拡大生産者責任に基づいて、事業者が主体的にリサイクルに取組むよう、国や事業者に働きかけを行います。また、小型家電リサイクルの推進やフードドライブの実施により、資源化の推進とごみの減量を図ります。

施策コード	508	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
マイバッグ運動の推進	マイバッグ運動推進	同左	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円
家庭ごみ有料化等の調査・研究	廃棄物減量等推進審議会の開催 組成調査の実施	同左	同左	同左
事業費	3,040千円	3,040千円	3,040千円	3,040千円
再利用計画書提出の促進 廃棄物管理責任者講習会	実施	同左	同左	同左
事業費	482千円	千円	千円	千円
容器包装リサイクル法等 見直しの働きかけ	実施	同左	同左	同左
事業費	0千円	0千円	0千円	0千円
小型家電リサイクルの推進	実施	同左	同左	同左
事業費	0千円	千円	千円	千円
フードドライブの実施	実施	同左	同左	同左
事業費	29千円	29千円	29千円	29千円

509 環境に配慮したごみの収集・運搬・処理の推進

ごみ収集の直営車両の買い替えに当たっては、低公害車の購入を継続するとともに、雇上車両についても、引き続き、低公害車の使用を促すよう働きかけます。

施策コード	509	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
低公害車の導入		小型プレス車1台 新大型特殊車1台	耐用年数を越えた車両 の買い替え時に導入	同左
事業費		22,626千円	千円	千円

510 産業廃棄物、建築副産物の排出抑制と再利用の促進

建設リサイクルの届出及び分別解体を確実に推進するため、届出の徹底、意識啓発等を図るとともに、引き続き現場パトロールの実施を推進します。

(2) 資源リサイクルの拡充

511 区民流通ネットワークシステムの構築

区民の3R(リデュース(発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再資源化))の取組みを促進するために、わかりやすい情報を情報紙や区ホームページ等を活用して提供します。

施策コード	511	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
3R情報の提供		3R店舗情報の提供 リサイクルバンク情報の 提供	同左	同左
事業費		243千円	243千円	243千円

512 事業者と処理業者の連携促進

家電製品等の資源リサイクルを確実、かつ、より効果的に行うため、事業者、処理業者及び区が必要な情報交換を適宜行えるよう連携の促進を図ります。

513 修理マイスター 制度の創設

ものを長く大切に使うため、事業者等の技術を活用して、「修理マイスター制度」に向けた人材育成について研究します。

マイスター:ドイツのものづくりの「親方」。「親方」の下で修行して一人前に」という中世からのものづくりのシステムを国家資格として整備したものがドイツのマイスター制度。

514 デポジット制度 などによる再資源化の促進

国及び事業者に対して再資源化品目の拡大の要請等を行うことに努めます。

また、デポジット制度については、その導入を国に働きかけるとともに、イベント時のリユースカップの導入等の先進的な取組みについて研究します。

デポジット制度:ビールびん等のように、預り金、保証金等を取り、返却時に返金することにより、確実な返却を促すためのシステム。

515 リサイクルリーダーの育成・活用

資源の有効利用を促進するためにリサイクル施設見学会等の開催や分別・リサイクルの情報誌発行し、リサイクルの取り組みを広めます。

施策コード	515	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
リサイクル推進の普及啓発		リサイクル施設見学会等の実施 リサイクル情報誌の発行	同左	同左
事業費		5,626千円	5,626千円	5,626千円

516 区民による資源回収活動の拡大

区内施設を活用した古着等の拠点回収を実施し、ごみ減量と資源化を推進します。また平成27年度からは葛西清掃事務所・葛西清掃事務所小松川分室での常設回収も開始し、利便性の向上を図ります。

地域力を生かし、良質な資源を効率的に回収できる集団回収活動を支援します。実施団体の安定的な運営を図るため、回収量に応じた報奨金の支給や集団回収ニュース等の配布等の支援を行います。

また、集団回収は資源の持ち去り防止対策としても有効なことから、より多くの方に参加していただくよう未実施町会等への働きかけを積極的に進めます。

さらに、回収業者に対しても、安定的な回収のために、資源の市況を参考にしながら支援を行います。

施策コード	516	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
古着等の拠点回収		古着・古布リサイクル回収の実施	同左	同左
事業費		6,761千円	6,761千円	6,761千円
集団回収活動の支援		実施	同左	同左
事業費		80,298千円	80,298千円	80,298千円

517 リサイクル製品の利用促進

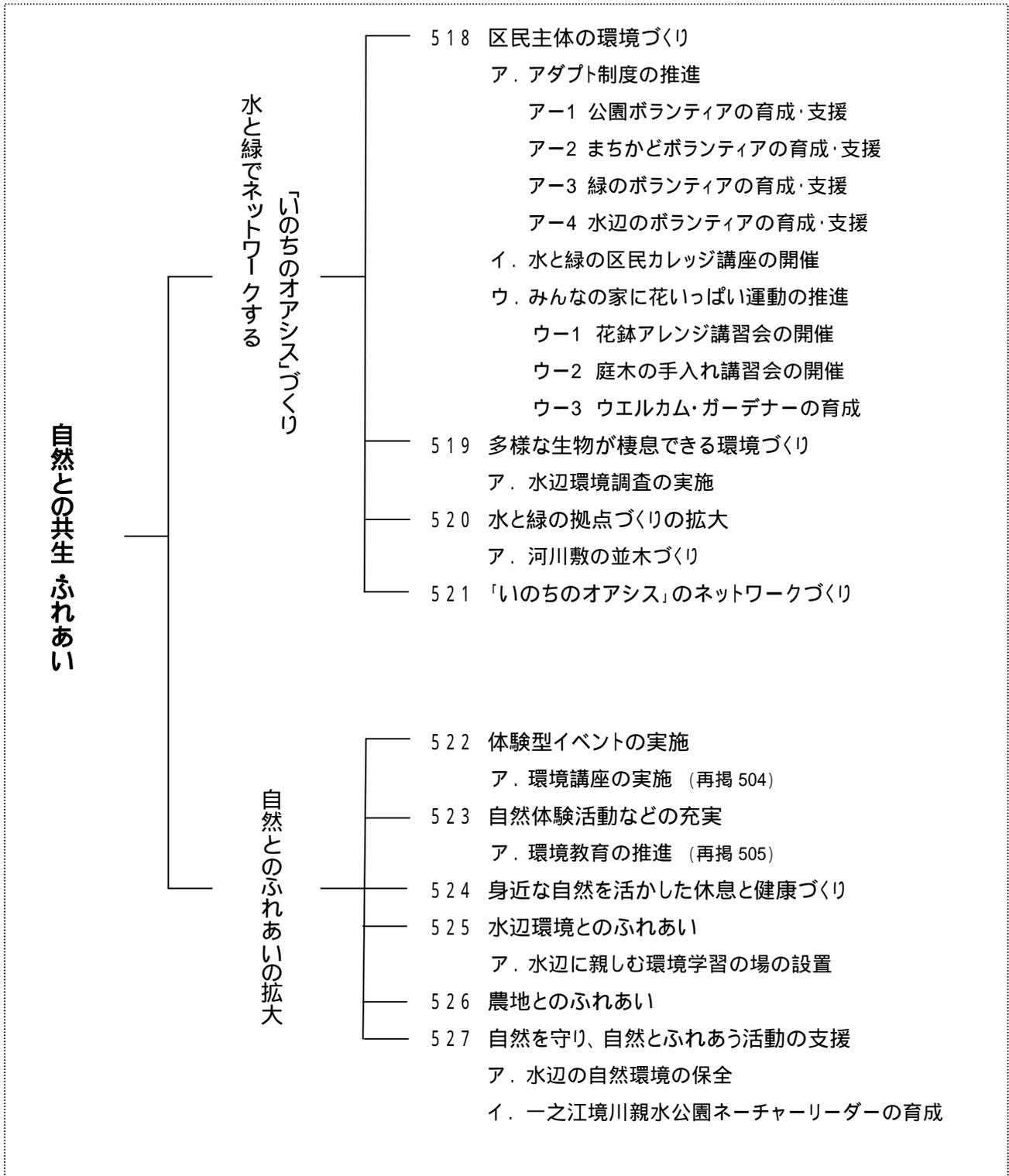
資源リサイクルを促進するため、区は事業者として、自らリサイクル製品の購入を促進するとともに、区民、事業者等のリサイクル製品の購入(グリーン購入)の促進を図ります。

3 自然との共生・ふれあい

【施策の考え方】

区には、区民の保全活動に支えられ、水と緑豊かな自然を活かしたうるおいの感じられる生活空間が形成されています。この特長を活かし、様々な生き物が棲む「いのちのオアシス」づくり、「花と緑の拠点」づくり等を進め、誰もが気軽に水と緑に親しめるような環境を整備します。また、これらの環境を利用して、自然とふれあうことのできる機会を充実します。

【施策体系図】



(1)水と緑でネットワークする「いのちのオアシス」づくり

518 区民主体の環境づくり

アダプト制度 を利用した各ボランティアの活動の展開を図っていきます。

区民相互の交流の促進、相談支援、情報の収集・提供等に努めるとともに、えどがわエコセンター との連携を図りながら、講習会、自然観察会等の開催等を行い、環境づくりのための様々な区民の活動を支援します。

また、「みんなの家に花いっぱい運動」を推進し、四季おりおりの花と緑があふれるまちづくりを進めます。

アダプト活動:道路、河川、公園等の公共スペースで実施する清掃等のボランティア活動。

えどがわエコセンター:江戸川区という地域社会を舞台として区民、事業者、行政が連携・協働し、多くの人々に環境にやさしい生活を広げるため設立した特定非営利活動法人。

施策コード		518	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度	
アダプト制度の推進	公園ボランティアの育成・支援	公園ボランティア連絡会の支援等	同左	同左	
	事業費	4,140千円	4,140千円	4,140千円	
	まちかどボランティアの育成・支援	ボランティア活動を周知する広報活動	同左	同左	
	事業費	20千円	20千円	20千円	
	緑のボランティアの育成・支援	活動の相談・支援 バンダナの支給	同左	同左	
	事業費	50千円	50千円	50千円	
	水辺のボランティアの育成・支援	活動の相談・支援 バンダナの支給	同左	同左	
	事業費	20千円	20千円	20千円	
水と緑の区民カレッジ講座の開催		26講座	同左	同左	
事業費		828千円	828千円	828千円	
みんなの家に花いっぱい運動の推進	花鉢アレンジ講習会の開催	10会場	同左	同左	
	事業費	262千円	262千円	262千円	
	庭木の手入れ講習会の開催	講習会9会場	同左	同左	
		緑の相談所9会場	同左	同左	
	事業費	118千円	118千円	118千円	
ウェルカム・ガーデナーの育成	5会場	同左	同左		
事業費		649千円	649千円	649千円	

519 多様な生物が棲息できる環境づくり

水辺環境調査をえどがわエコセンターに委託し実施することで現状把握を行い、そのデータを水辺の自然の保全活動に活用していきます。

施策コード	519	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
水辺環境調査の実施	水辺環境調査		同左	同左
事業費		1,674千円	1,674千円	1,674千円

520 水と緑の拠点づくりの拡大

旧江戸川における堤防天端及び河川敷への桜を主とした植栽を計画的に実施し、環境整備を推進します。

施策コード	520	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
河川敷の並木づくり	旧江戸川の桜等植栽計画		設計	実施
事業費		1,000千円	1,000千円	千円

521 「いのちのオアシス」のネットワークづくり

地域の憩いの場となる利用の促進を図るとともに、生態系に配慮した、より自然に近い親水緑道の整備を図ります。

(2) 自然とのふれあいの拡大

522 体験型イベントの実施

えどがわエコセンターで実施する自然観察会等の環境講座を支援します。

施策コード	522	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
環境講座の実施 再掲504	環境講座		同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、環境講座の実施(施策コード504)の中で計上しています。

523 自然体験活動などの充実

えどがわエコセンターを中心とした、諸団体が地域で行う環境に関する活動に対して支援を行います。

施策コード	523	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
環境教育の推進 再掲505		地域の実情に合わせた活動の支援	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

「-」:事業費は、NPO法人えどがわエコセンターへの支援(施策コード504)の中で計上しています。

524 身近な自然を活かした休息と健康づくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

525 水辺環境とのふれあい

えどがわエコセンターとの連携を図り、豊かな水辺空間を活用した環境学習の場づくりを推進します。

施策コード	525	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
水辺に親しむ環境学習の場の設置		環境学習等の場としての活用	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円

526 農地とのふれあい

農地を身近な自然としてとらえ、保全及びその活用を図るとともに、区民農園、ふれあい農園等を充実し、区民が農業体験を通じて自然とふれあうことのできる機会の提供に努めます。また、農家の協力を得ながら、子供たちが農業体験できるような機会の充実を図ります。

527 自然を守り、自然とふれあう活動の支援

多くの生き物が生息する水辺の自然生態系を保全し、また国や都との連携により復元・再生を図って、より良い水辺づくりを推進します。また、親水公園周辺に生息する生物や植物について学び、自然に親しみながら生物調査と環境学習指導者を育成します。

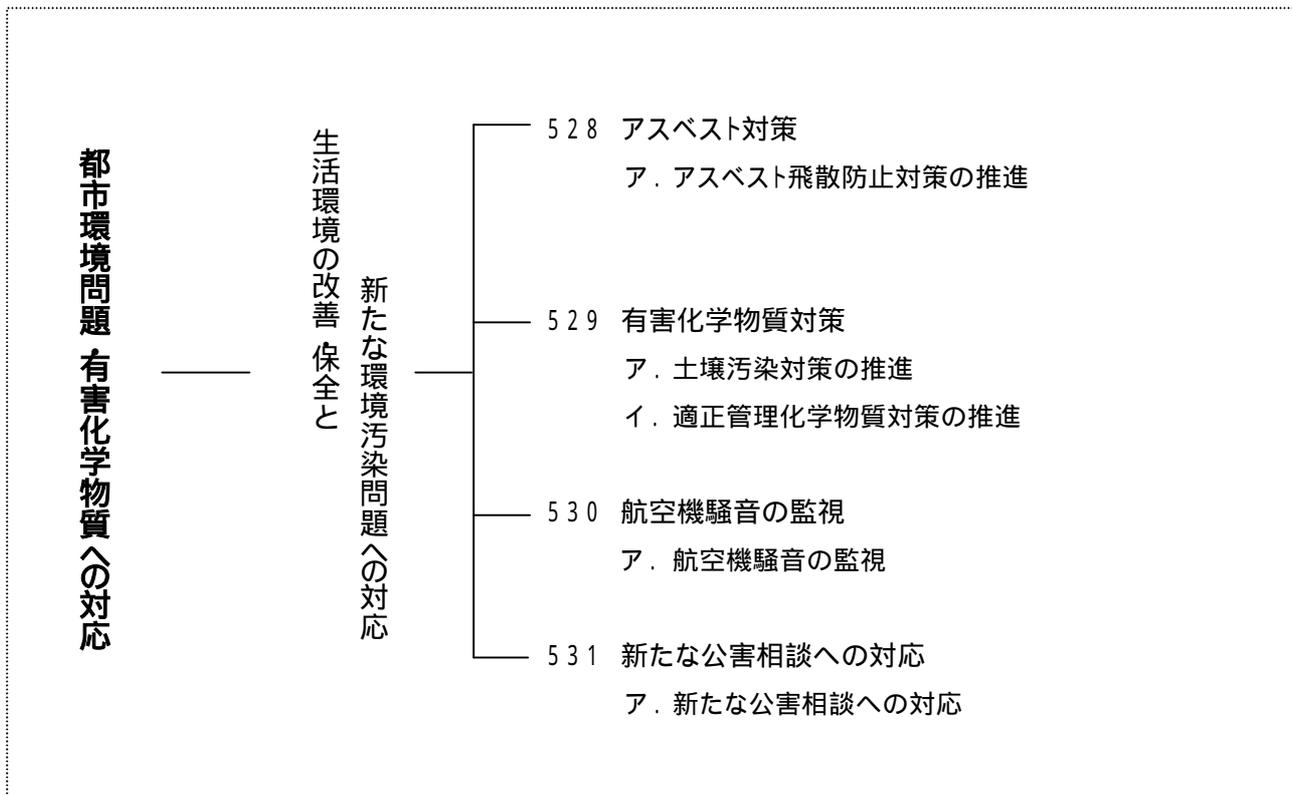
施策コード	527	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
水辺の自然環境の保全		水辺の保全・復元再生	同左	同左
事業費		0千円	0千円	0千円
一之江境川親水公園 ネイチャーリーダーの育成		ネイチャーリーダーの育成支援等	同左	同左
事業費		140千円	140千円	140千円

4 都市環境問題・有害化学物質への対応

【施策の考え方】

区民の暮らしに影響を及ぼす都市環境問題、有害化学物質等について、国及び都と協力しながら、区民、事業者等ともに対応します。また、問題の発生及び被害の拡大を防止するための情報の共有化を図り、リスクの低減に努めます。

【施策体系図】



(1)生活環境の改善・保全と新たな環境汚染問題への対応

528 アスベスト対策

解体工事等における事前調査や作業方法の不備によるアスベスト飛散を防止するため、工事業者に対して適切な工事方法を指導します。また、建築物のアスベスト調査費の助成や、大気環境中のアスベスト濃度を測定するなど、アスベスト対策を推進します。

施策コード	528	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
アスベスト飛散防止対策の推進	建築物等の解体等工事に対する指導		同左	同左
	アスベスト除去等作業に対する指導		同左	同左
	大気環境測定の実施		同左	同左
	アスベスト調査費の助成		同左	同左
事業費		848千円	848千円	848千円

529 有害化学物質対策

有害物質による土壌汚染やVOCによる大気汚染の未然防止のため、適正管理化学物質の適切な取扱い方法や法令に定める制度についての周知徹底を行ない、化学物質対策を推進します。

施策コード	529	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
土壌汚染対策の推進	有害物質取扱事業所 に対する啓発及び指導		同左	同左
事業費		137千円	137千円	137千円
適正管理化学物質対策の 推進	適正管理化学物質取 扱事業所に対する啓発 及び指導		同左	同左
事業費		220千円	220千円	220千円

530 航空機騒音の監視

羽田空港着陸機の南風悪天候時等における、区上空飛行の状況、及び、騒音影響を確認するため、清新町で航空機騒音の常時測定を継続して実施します。

また、国土交通省に対し、引き続き航空機騒音低減について申し入れを行います。

施策コード	530	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
航空機騒音の監視	着陸機の騒音測定		同左	同左
	国土交通省への騒音 低減の申し入れ		同左	同左
事業費		3,605千円	3,605千円	3,605千円

531 新たな公害相談への対応

空き地や生活騒音などの近隣問題や様々な生活スタイルの多様化等で生じる新たな公害相談について、相談体制を充実させるとともに関係部署との連携を図りながら解決へ導きます。また、地域の中や当事者間で自己解決できるように支援していきます。

施策コード	531	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
新たな公害相談への対応	状況に応じた適切な 対応		同左	同左
事業費		665千円	665千円	665千円

